

アンケート調査結果

新型コロナウイルス（COVID-19） の感染拡大による影響について

令和2年7月



大館北秋田地域林業成長産業化協議会

アンケート調査

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大による影響について

【調査目的】 新型コロナウイルス（COVID-19）による影響について、緊急事態宣言～宣言解除後の状況把握を行うため。

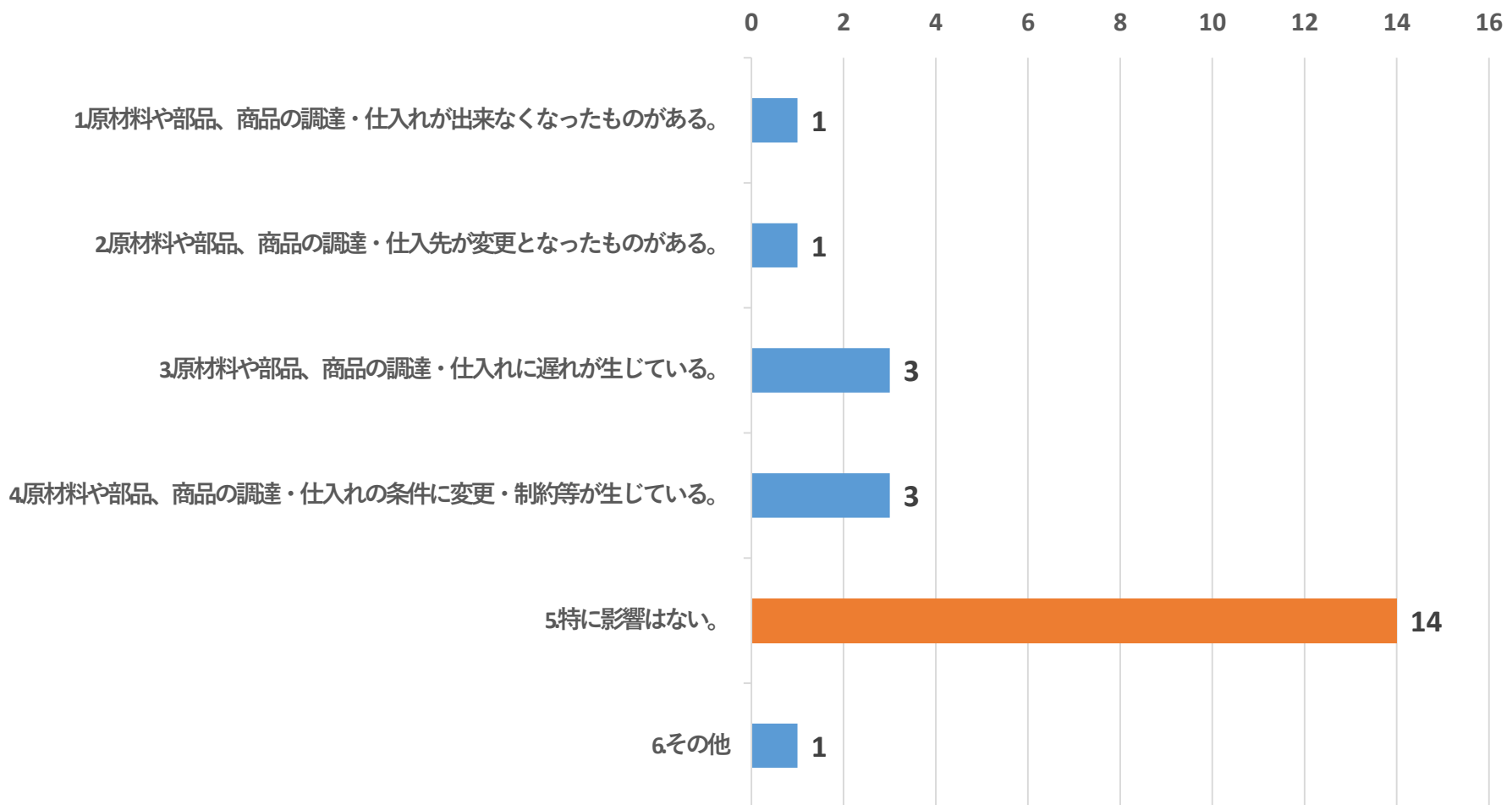
【調査方法】 文書依頼、FAX回答方式

【調査期間】 令和2年6月5日（金）～6月19日（金）

【調査対象】 大館北秋田地域林業成長産業化協議会 会員 27事業体

【回答者数】 23事業体（回答率：85.1%）
うち森林組合・素材生産事業者・苗木生産者 13事業体
うち木材加工・バイオマス・流通事業者 10事業体

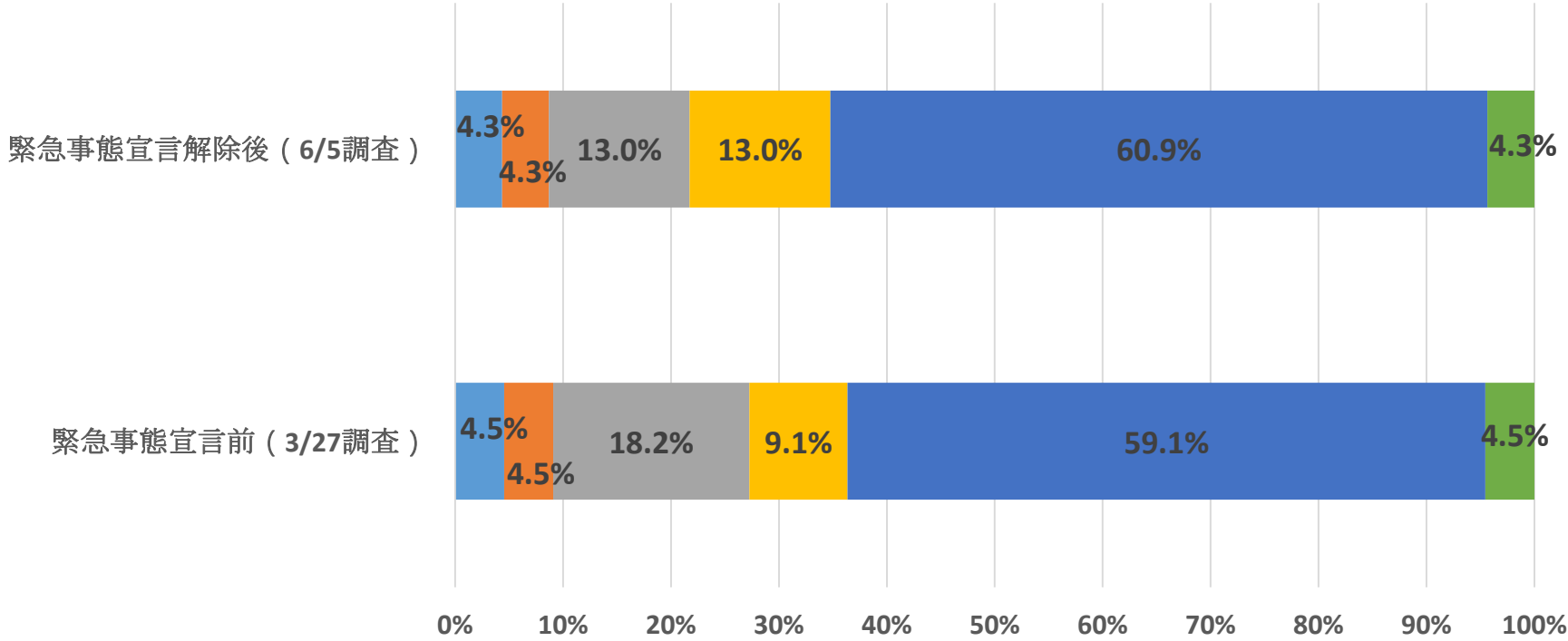
1-1 緊急事態宣言以降、新型コロナウイルスの影響により、原材料や部品、商品の調達・仕入れに影響がありますか。（複数回答可、該当する項目に○）



【その他のコメント】

○6月以降原材料仕入れに影響が出てくることが予想される。

1-1 緊急事態宣言以降、新型コロナウイルスの影響により、原材料や部品、商品の調達・仕入れに影響がありますか。（前回調査との比較）



- 1.原材料や部品、商品の調達・仕入れが出来なくなったものがある。
- 2.原材料や部品、商品の調達・仕入先が変更となったものがある。
- 3.原材料や部品、商品の調達・仕入れに遅れが生じている。
- 4.原材料や部品、商品の調達・仕入れの条件に変更・制約等が生じている。
- 5.特に影響はない。
- 6.その他

1-2 1-1の設問の回答について具体的な内容を記載してください。

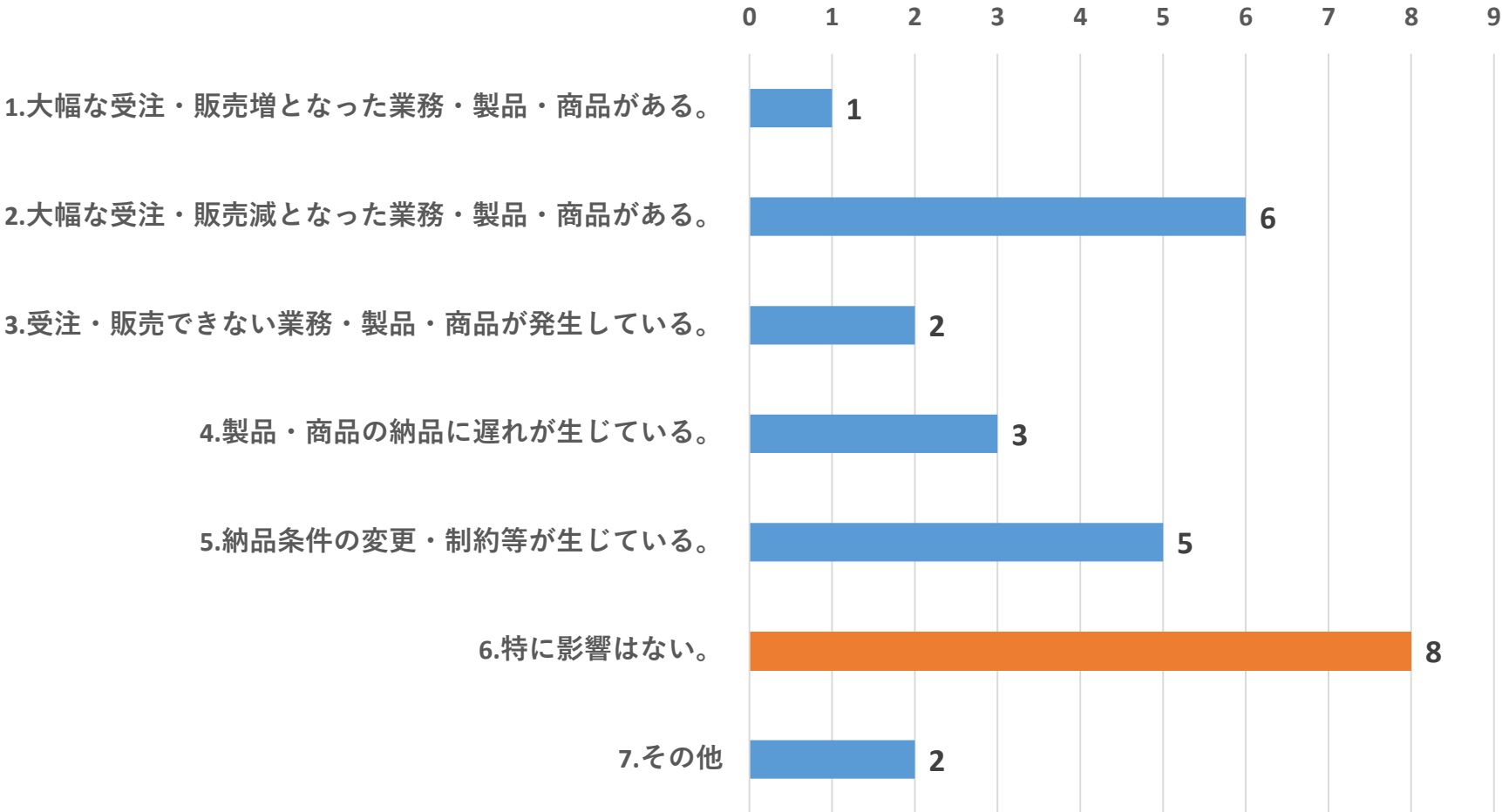
【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- 部品が入るか不透明。
- 商品の調達等仕入には影響がなかった。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 需要減少で、原木価格の低下に伴い、山元からの供給は減るものと思われる。
- 供給量、材質の不安定化。
- 輸入先が原材料不足 ①例えば中国とロシア国境閉鎖により、ロシアのカバ、ナラ原木が、中国に入荷せず、ナラ単板、カバ単板が不足ぎみにより価格高騰。 ②中国経済が停滞し、荷動きがないので、世界中のコンテナが動かず、輸送が計画できなく。
- コロナ関連での倒産ではないが、県北木材センターの代替先の確保をおこなっている。
- 海外からの部品仕入れに遅れが生じている。海外エンジニアの派遣要請ができない。
- 当初予定していた販売先の原木在庫が膨れ上がり、仕入量を予定より少なくしたところがある。
- 販売先の樹種変更により、仕入先の変更が生じている。

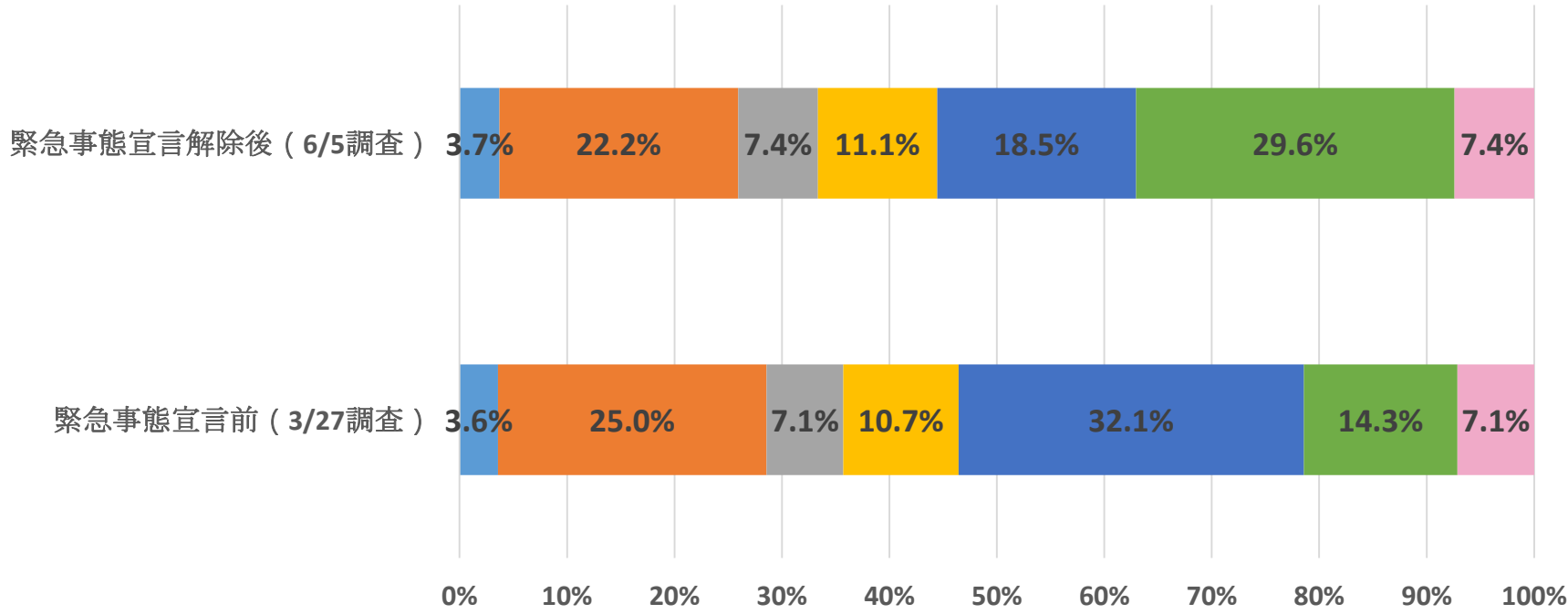
2-1 新型コロナウイルス感染拡大により、取引先に向けた製品・商品の受注・納品等に影響はありますか。（複数回答可、該当する項目に○）



【その他のコメント】

- 原木市場の出品の停滞。
- 例年行われている植樹祭が中止となり広葉樹苗木が出荷無し。

2-1 新型コロナウイルス感染拡大により、取引先に向けた製品・商品の受注・納品等に影響はありますか。（前回調査との比較）



- 1.大幅な受注・販売増となった業務・製品・商品がある。
- 2.大幅な受注・販売減となった業務・製品・商品がある。
- 3.受注・販売できない業務・製品・商品が発生している。
- 4.製品・商品の納品に遅れが生じている。
- 5.納品条件の変更・制約等が生じている。
- 6.特に影響はない。
- 7.その他

2-2 2-1の設問の回答について具体的な内容を記載してください。

【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- 丸太が動かない。
- 杉の製品等の取引会社の事情により、納品の納入期日の指定、数量の減少が多く発生した。
- 合板材の受入減少。
- 合板工場より納品ストップの連絡が入っている。
- 合板工場への納品（減産調整）、製品の荷動き、価格共に悪いため出品調整している。
- 合板が数量調整がされている。一般材の入札が低調である。
- 納品先が稼働していない。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 景気後退は鮮明になってきており、住宅市場の低迷、住宅着工件数の落込みが予想される。
- 納品先の仕入量の激減。
- 7月以降は大幅な販売減見込み。
- 海外への移動が自粛に伴い、県外案件への出張ができず、納品、工事に遅れが生じている。
- 販売先の過剰在庫により、販売量の減、納期遅れ（受入予定日の度重なる変更）、販売先の変更が生じている。
- 想定外の販売先へ、タイミングよく大幅に納入できたこともある。

3 緊急事態宣言以降、新型コロナウイルス感染拡大により発生した業務上の課題や顧客から求められている対応等について具体的な内容を記載してください。

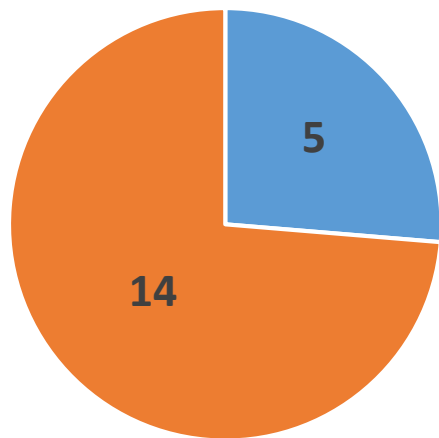
【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- 雇用維持。
- 施業内容の見直し。
- これまでと引き続き運転手の体温測定（一部顧客）。
- 生産調整の為、作業を中止している。
- 原木納入の制限。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 6月11日現在、顧客からの具体的な対応策等は求められてはいない。
- 販売量の減少。
- 受注が少なくなったので、雇用調整、変動業務になり、少ない人員で生産計画、事故のないように、クレームのでないように気配り。売上が各社少なくなったので、価格の交渉がシビア。しかし原材料は高騰につき見積り合せが困難。
- 製材品の流通鈍化により原材料（丸太）の出荷も鈍化、価格低下している。山土場に出荷待ち丸太が山積みされ、梅雨の時期を迎え虫害が心配である。
- 生産活動停止のリスクを考えると工場の無人化（可能な限りの省人化）が必要。
- 対人営業の自粛を強いられるため、抜本的な営業手法の見直しが必要。
- マスク着用等との感染対策の徹底。
- 山元在庫も滞留しがちな状況で、素材生産業者から、日々変わる各販売先の最新情報を把握し適切に売りさばくことを切実に求められている。
- 素材生産業者から次の現場作業に入るべきか、時期や単価の助言を求められる。
- いつ頃需要が回復するのか見通せない状況で、相談への対応が日々難しくなってきている。

4 緊急事態宣言以降、顧客満足の維持・向上のために取り組まれていることがありますか。
「ある」と回答された方のみ、その取り組みについて具体的にお聞かせください。



■ 1.ある ■ 2.ない

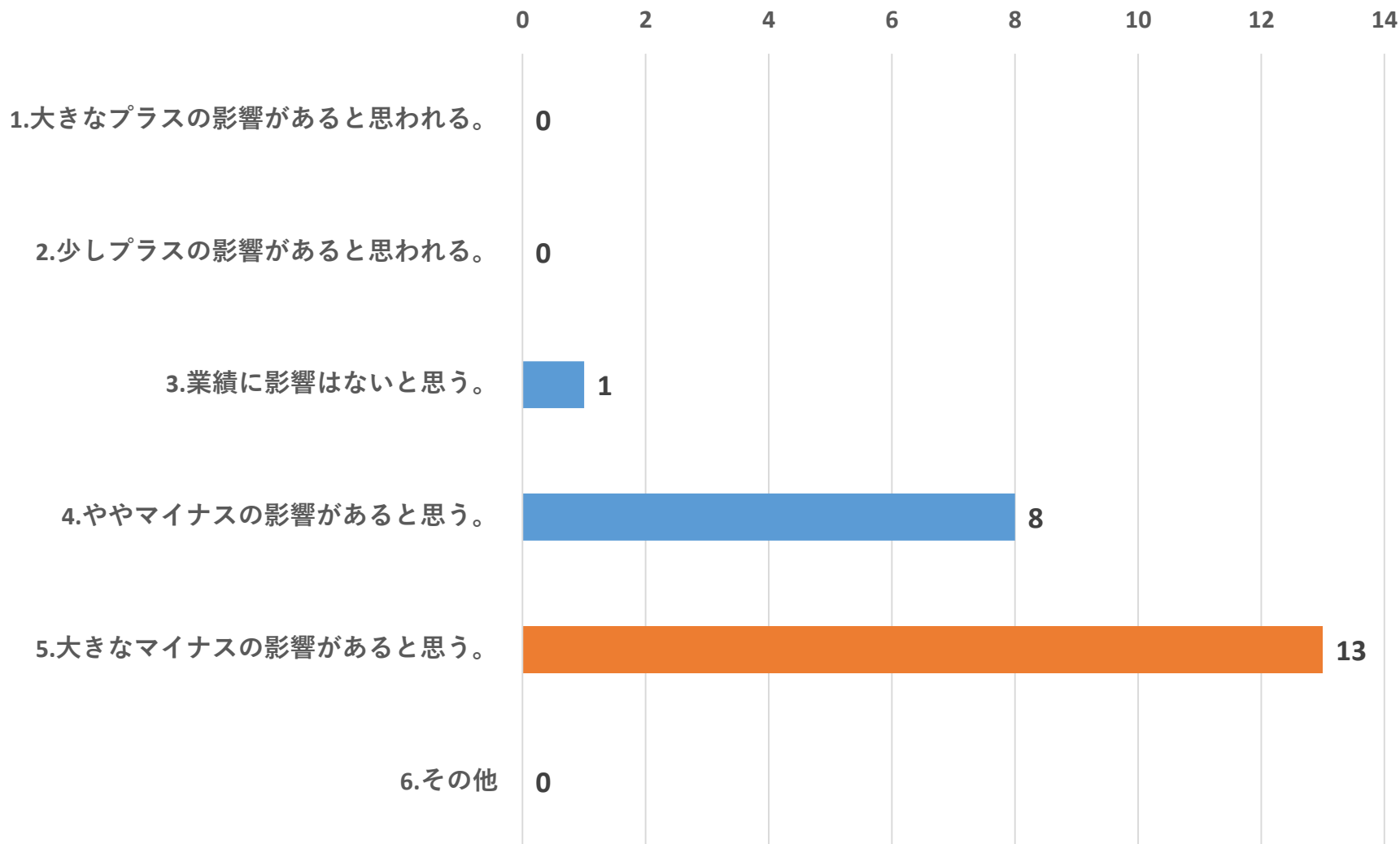
【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

○アポ取りしてからの面会、マスク着用、体温確認後の就労

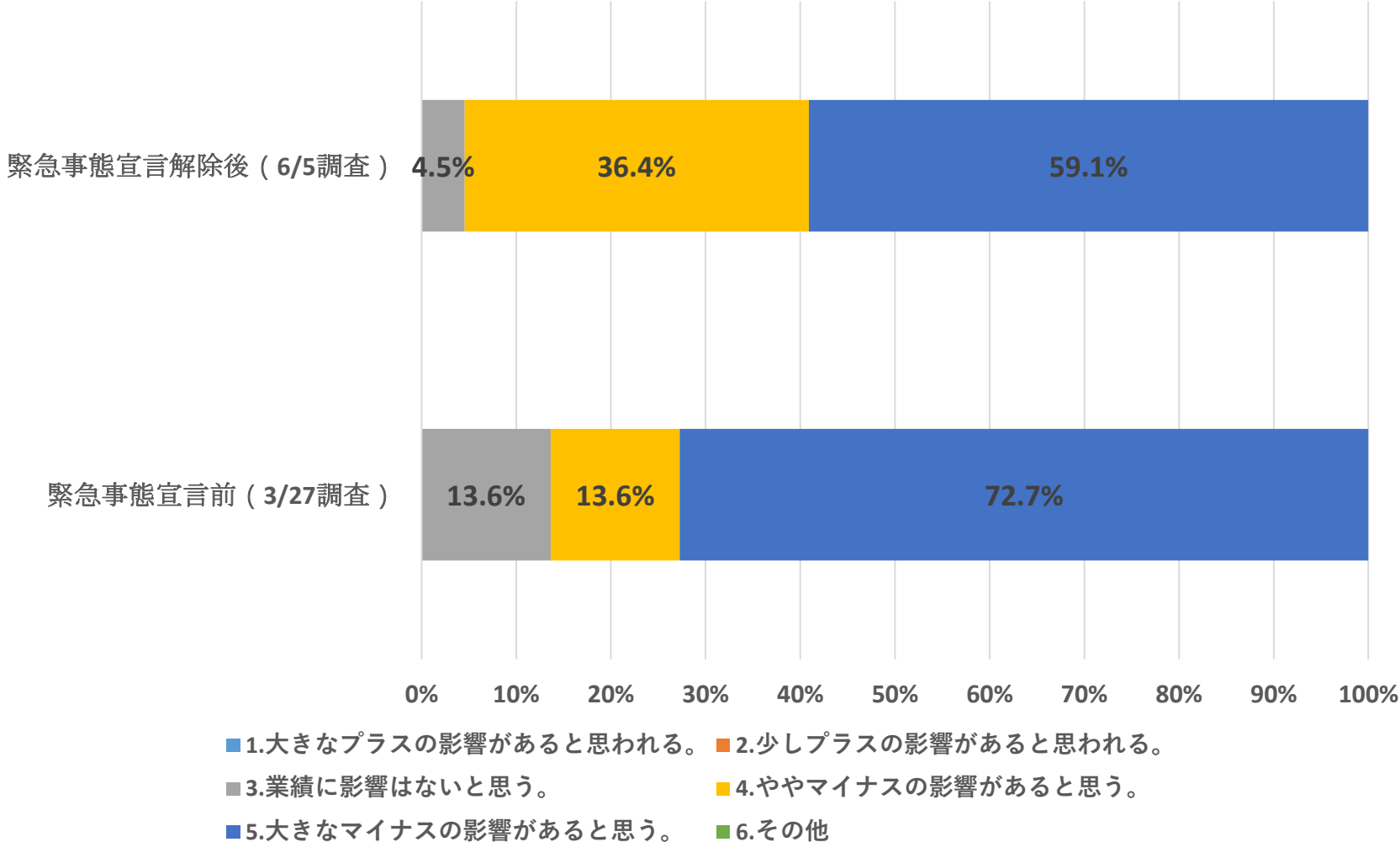
【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 生産調整。
- 受注が少なく短納期での発注が多くなったので、即納できる体制。
- 取引先がリモートワークになることが多く、実際の商品を見ながらの交渉などはskypeやzoomなどで遠隔対応出来るようにした。
- 顧客から求めに早急に応えるため、川下まで含めた様々な情報をつかむ努力をしている。

5-1 新型コロナウイルス感染拡大による、業績への影響について回答してください。



5 - 1 新型コロナウイルス感染拡大による、業績への影響について回答してください。 (前回調査との比較)



5-2 5-1の設問の回答についてお考えをお聞かせください。

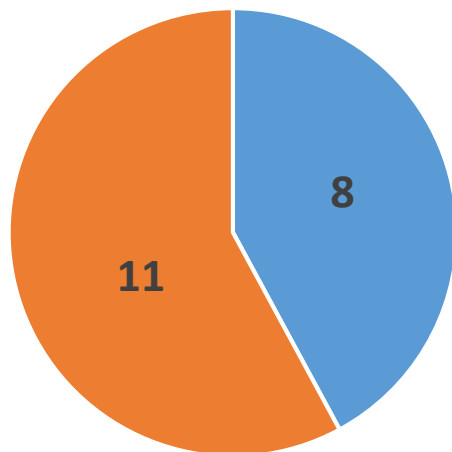
【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- どこまで長引くかわからない。
- 原木等が売れなくなり、納入数量が大幅に減少した。
- 素材生産売上の減少をどうカバーしていくか思案中。
- 経済全体の低迷により以下の影響を懸念している。①木材需要の減少による製材、合板工場の減産②原木在庫の増加③原木入荷制限や価格の下落④輸出用原木の滞留。
- ウイルス感染がやや落ちついてきた状況から、荷動きが少しずつ上向き気配もいわれており4と5の中間程度か。
- 原木の単価が下がっている。安い単価で落とされている。
- 日本全体でみて経済が動きようないため。もう少し状況が分かるまでは仕方ないと思う。
- 木材の流通に影響があり供給調整の必要がある。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 今後の新型コロナウイルスの第2波、第3波の感染拡大が心配され、住宅市場の回復は当分見込めない。
- 首都圏の営業活動ができなかった。従来であれば夏場の繁忙期発生が少ない。
- 小中高校の夏休み補修物件が夏休み短縮により無くなった。
- 足元の影響は軽微であるが、7月～12月の受注減は多大の落ち込みが予測される。2020年の住宅着工予測は74万戸予測であり、先行き、大幅な減を予想する。
- 売上の内、弊社住宅部が7割程度である。緊急事態宣言により首都圏の住宅展示場の休場や顧客との打ち合わせがストップしたことから住宅工事が延期になっている物件が2桁単位で発生している。工期が数か月遅延することにより仕事のしわ寄せが発生することが予想され、今後の資金繰りや仕入れ調整をおこない財務の健全化を維持する。
- 住宅用構造材が主商品なので、住宅販売営業の停滞時期分の需要減を一般的には直接受けることになる。
- 経済全体の景気悪化が予想され、その影響がでてくると思われる。特に交渉中の計画見直しなどが発生する可能性が心配される。
- 合板、製材工場の需要減から、原木に関しては、6月までは荷動きがあるが、7月以降に急激な落ち込みが見込まれており、単価引下げも起こりつつある。

6 緊急事態宣言以降、新型コロナウイルス感染拡大による、業績・業務への影響を最小限に抑えるために取り組まれていることがありますか。「ある」と回答された方のみ、その取り組みについて具体的にお聞かせください。



■ 1.ある ■ 2.ない

【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- 丸太を切らない業務を探している。
- 業界団体を通して、生産量、納入量の減少ならないよう強くお願いと要望をしました。
- 造林、保育に力を入れる又は極カスギ山の伐採を避ける。
- 立木の伐採をストップ。
- 営業で来所する方とはむやみに会わない。マスク着用、感染予防が一番大切な取組。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 雇用維持のために雇用調整助成金の活用。
- 住宅の受注が一時的に減少することが見込まれることから、地元工務店との情報共有を密にして地元での受注確保によりカバーしていく。
- 顧客から求めに早急に応えるため、川下まで含めた様々な情報をつかむ努力をしている。
- 早めの在庫処分の徹底、バイオマス材の確保に努めている。

7 緊急事態宣言以降の想定される今後の課題をお聞かせください。

【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- いつ回復するのか見通せないのが一番懸念される。
- 経済活動の停滞の影響による原木価格の下落を心配している。社内においては感染者を出さないよう予防対策を図る必要がある。
- 市況の状況によりその時点での判断となる。
- 材の供給がストップ→原木が売れない。
- 今年度はいかに会社としてムダを省いて、少ない売上から利益を生むかの企業努力で決まるのではないか。
- 造林予算の減少。

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 会社の資金繰り。社員に感染者が出た場合の工場の生産停止、休業対応。首都圏の感染拡大に伴うトラックなどの流通。人が集まる講習会、研修会の取りやめ。
- 発注されていた物件が納期延期になり、今後の物件もみえない中で当然売上減少。業務継続の為に優先順位、営業売上、情報確保の為に各取引先に電話営業。
- 計画の遅れに伴い運転資金の調達が必要とされる。
- 需要回復時期など今後の見通しを立てるためにも、各分野の適時の情報収集が必要である。
- より安い輸入製品への切替えも起こっており、切替え防止や再度国産材への戻してもらうための方策を検討する必要がある。
- コロナ渦とは関係なく、住宅着工数の減ははっきりしていたことであり、そもそも新たな木材需要を作っていく必要がある。

8 国・都道府県・行政・関係団体への要望・ご意見をお聞かせください。

【森林組合・素材生産事業者・苗木生産者の回答】

- 事業・生産量の確保等をご要望します。
- 緊急支援策で予算が増えているが、もっと簡潔な手続きで配分されるような仕組みがほしい。
- 当面は特になし。
- 単価の補償を（コロナ発生前の市場価格）

【木材加工・バイオマス・流通事業者の回答】

- 経営状況は厳しさを増して行くと考えられる。1.首都圏などの運賃補助。 2.公共料金（電気代、水道料 etc）の負担軽減措置。 3.固定資産税評価額の早期の見直しと減免措置。
- 首都圏（特に秋田県）の公共物件が、予算がないと木質内装材が安価なシート、ビニールに変更になる。公共物件こそ国産木質化。
- 今後とも補助金などの情報提供を引き続きお願いしていきたい。影響が出てくるのは住宅受注が減り収入を得る時期（受注後半年～1年後）が厳しくなると考える。目先の対策ではなく継続的な対策をしていただきたい。
- コロナ対策の特別融資において迅速な対応をお願いしたい。
- 国有林・公有林の発注は、雇用対策の側面をきちんと考えるとともに、市況が悪化しないように搬出期限の延長など出来る限りの配慮をお願いしたい。
- 前倒し可能な公共建築物発注がないか、個人住宅で活用可能な補助事業の周知徹底など、引き続き、木材需要を喚起するための支援をお願いしたい。